

今年、新たに挑戦します！！

新たな1年が始まりました。このたよりも11回目の新年を迎えることができ感謝致します。さて、今年の第1回目は、村井会長が今年新たに皆様と一緒に挑戦したい事への思いを語って頂きました。

昨年は、“**活菜生活**”を始めませんか！というキャッチフレーズで、水耕野菜の販売作戦を展開してきました。

“活菜生活”は、新鮮、健康的、安全と3拍子そろった水耕野菜を、根付で“活菜”として提供できるシステムです。これによって、水耕野菜の本当の姿、価値を知ってもらうことが出来、“活菜”を安心して、美味しく食べて元気になる“活菜生活”という新しい生活スタイルを提案できると確信しました。しかし、まだまだ、知られていませんし販売システムが構築できていないなど課題は山積みです。ただ、“活菜”に対する関心は非常に高いことはわかりました。そして、企業や飲食店等からの引き合いが多くあり、十分な手ごたえを感じています。ネット販売も始動しました。

2008年、“活菜生活”は具体的にスタートします。

そのために、M式から皆様に大きい声で呼びかけたいのです。

“活菜”三つ葉を三つ葉の心と共に積極的に売り込みます。

“活菜生活”の柱となる“活菜”は「三つ葉」です。

三つ葉は、言うまでもなく 日本の野菜 日本の香り 日本の薬味（薬菜）です。日本人である私達がかかるともって食べるべきです。M式の生産システムが全国の三つ葉の70%以上のシェアを占めていることも忘れてはなりません。

“活菜”は、「くすり」より「くすり」というキャッチフレーズで付加価値を付けて売り込みます。

“活菜”は根付ですから、新鮮100%です。衛生的な環境で生産が出来るよう適切な農場管理を推進し、“活菜”の栄養価、機能性効果を確認し、安全で健康に良い、美味しい水耕野菜として付加価値の高い“活菜”を売り込むべくプロジェクトを組んで推進します。

“活菜生活”を多くの人に知らせ、利用してもらう活動を展開します。

見る、聞く、味わう、触れる、体験するという方法で、食べ方や食育活動を積極的に行います。実感してもらうことは、一番の効果です。とにかく謙虚な気持ちで自信を持って皆様に知ってもらうことが如何に大切かを痛感しました。

さらに皆様に呼びかけます！

“活菜生活”を、生産者である皆様とネットワークを組んでやりたいのです。

M式は、皆様生産者から、高く野菜を買い、付加価値を付けて“活菜生活”を売り込むという作戦で行きたいと考えています。

その前に、皆様の現状が知りたい。その上で具体的な戦略内容を提示していきたいと考えています。後日アンケートをお送りします。どうぞお答えくださり、ご理解ください。

とにかく、2008年は“活菜生活”をキャッチフレーズにMちゃんブランドを立ちあげます。

私は、ムライ=夢来(ゆめくる)といいます。皆様にの活力と幸せを！そんな意気込みでいます。M式は40年余りの水耕栽培の歴史があります。

正直者、正直物の消費に時代は向かって進化しています。どうぞ皆様前へ向かっていきましょう！

(会長 村井邦彦)

